

2006年5月29日

数学教室主任各位

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から日本数学会の活動、特に出版委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。本日は、日本数学会が刊行いたしております英文誌 Journal of the Mathematical Society of Japan(JMSJ)の電子化の現状についてご案内いたしますとともに、電子版 JMSJ の購読の方法に関する情報をお知らせいたします。

## 会員校に対する電子版 JMSJ のアクセス権付与について

JMSJ の電子版を Project Euclid

<http://projecteuclid.org>

上で掲載を始めました。そこで、この度購読者からのアクセスを整えるための手続きを始めることになりました。今後、国内の会員校（名簿の後ろに掲載されている教室）からのアクセス設定、国内および海外購入先からのアクセスの設定、会員の ID の設定を順次行ないますが、今回は、会員校のアクセス設定のために、この書簡をお送りする次第です。

日本数学会では、会員のアクセスの利便性向上や数学を専攻する大学院生に対する支援などのために、C クラス 1 個分または 2 個分の IP アドレスからの電子版 JMSJ へのアクセス権を会員校に対して無償で付与することにしました。電子版 JMSJ へのアクセスを希望される数学教室は、メールアドレス

[el-jmsj@math.or.jp](mailto:el-jmsj@math.or.jp)

(el は electronic の最初の 2 文字)に、以下に説明いたします IP アドレスに関する情報をお知らせください。

### (1) 大学内で 2006 年の JMSJ 5 8 巻を購入されている場合

この場合は、2006年12月末まで Project Euclid 上の JMSJ に対して B クラス 2 個分の IP アドレスの部分集合からアクセスできるように設定できます。例えば、慶應義塾大学は

131.113.\*.\*

133.27.\*.\*

という 16bit 分すなわち 2 の 16 乗個のアドレス (B クラスの IP アドレス) を 2 個用いています。このような場合は、上の形の表記で B クラスの IP アドレスを 2 個お送りください。実は、この中には大学以外の教育機関、例えば幼

稚舎の IP アドレスも含まれておりますが、この 2 個の B クラスの IP アドレスに含まれる 1 0 0 個の C クラスの IP アドレスをお送り頂くより、B クラスの IP アドレスを丸ごと 2 個教えて頂ける方が数学会の管理上好ましいことにご注意ください (C クラスの IP アドレスとは、例えば日吉数学研究室が専用しています)

131.113.232.\*

のように 8bit の 256 個の IP アドレスのことを言います)。

別の例ですが、東京工業大学は

131.112.\*.\*

と 1 個の B クラスの IP アドレスを使用していますが、この場合はこの 1 個の B クラスの IP アドレスをお知らせください。

寄贈や交換で JMSJ を入手されている場合は、この (1) のケースに当てはまらないことにご注意ください。同一大学内に、複数の数学教室がある場合は、連絡を取り合って、JMSJ の購入状況をご確認頂ければ助かります。また、上記のメールアドレスにメールを頂ければ、事務局から購入状況についてご連絡させていただきます。

なお、この措置は 2 0 0 6 年 1 2 月末までです。2007 年の JMSJ の価格は ONLINE ONLY, PRINT ONLY, PRINT+ONLINE の 3 種類となる予定です。2007 年 1 月からは ONLINE を含む契約をされた教室にのみ 2006 年と同様の B クラス 2 個分の IP アドレスからのアクセスを設定いたします。また、ONLINE を含む形で 2007 年からの新規の契約をされた教室には、2006 年中でも、同様の設定をさせていただきます (2 0 0 7 年の契約については、また別途ご案内いたします)。

## (2) 大学内で 2 0 0 6 年の JMSJ 5 8 巻を購入されていない場合

この場合は、数学教室あたり 1 個または 2 個の C クラスの IP アドレスをご連絡ください。C クラスの IP アドレスを部分的に数学教室が用いている場合でも、C クラスの IP アドレスを

131.113.232.\*

の形でご連絡ください。

出版委員会では、以上の 2 つの場合のルールを適用するにあたって、技術的な困難が生じる可能性があると思っております。その場合は、遠慮なく事情をご説明頂きたいと思っております。出版委員会では、必要ならば理事会とも協議いたしまして、問題解決に当たりたいと思っております。

ります。

## **JMSJ の電子化に関するその他の情報**

**J-Stage への掲載** 以上は Project Euclid 上の JMSJ に関することでした。Project Euclid に加えて、科学技術振興機構(JST)が運営しています Journal@rchive

<http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/>

に JMSJ の 1 巻から 5 7 巻までを掲載する予定で、すでに 1 巻 1 号が無料公開されております。

また、5 8 巻以降も JST の J-Stage

<http://www.jstage.jst.go.jp/>

上に掲載します。そして、Journal@rchive 事業によって作成された電子ファイルを用いて、Project Euclid 上にも 1 巻から 5 7 巻までの論文を掲載します。その際に、両方のサイトの 5 年未経過の論文へのアクセス制御にも、お送り頂きます IP アドレスを使用させていただきます (冊子体上での公開後が 5 年経過した論文に関してはオープンアクセスとします)。

**5 8 巻 1 号のオープンアクセス** 5 8 巻 2 号が Project Euclid 上で公開された後に、2 0 0 6 年 1 2 月末まで 5 8 巻 1 号をオープンアクセス可能とします。その他の号についても、同様の措置を取りたいと思いますが、一部の号はアクセス制御をチェックするために、オープンアクセスとしないこととします。

**情報のページ** 「数学通信」1 1 巻 1 号におきましても説明いたしましたが、Project Euclid 上の JMSJ へのアクセスに関するウェブページを作成しました。URL は

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/shuppan/euclid.html>

ですが、数学会のトップページからもリンクがあります。このページには、Project Euclid に限らず、JMSJ の電子化に関する様々な情報を掲載する予定です。

2 0 0 5 年度出版委員会担当理事

戸瀬 信之

[tose\(at\)math.or.jp](mailto:tose@math.or.jp)

事務局連絡先 張良